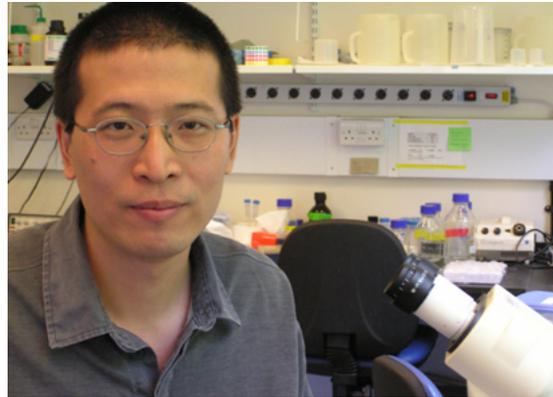


初期発生研究チームのチームリーダーに Guojun Sheng 氏を起用

2004年7月7日

この度、Guojun Sheng 氏が初期発生研究チームを CDB にて 9 月から立ち上げるこ
ととなった。初期発生における細胞運命決定とパターン形成のメカニズムについて分子、
細胞レベルでの解明を目指す。胚葉形成初期における細胞の形態や運動、相互作用を制御
するシグナル分子、またそれらのシグナル分子と細胞運命決定の関係を明らかにしたいと
いう。

彼らは脊椎動物の初期発生に注目し、
神経外胚葉と中胚葉のパターニングおよび後
部中胚葉性前駆細胞の造血系及び血管系への
分化を対象に研究を行う。初期発生研究チ
ームはニワトリを用いた古典的な実験発生学に
分子操作や最新の画像化技術を融合する。さ
らに、マウスを用いた遺伝子解析によりデー
タを相補するという。Guojun Sheng 氏は現
在、University College London Department
of Anatomy and Developmental Biology で研究を行い、近年の研究成果は以下に挙げられ
る。



Sheng et.al., Cell 115:603-13(2003)

Sheng et.al., Mech.Dev. 87:213-6(1999)

Sheng et.al., Genes Dev. 11:1122-31(1997)

Sheng et.al., Biol Chem. 378:863-72(1997)

Papatsenko et.al., Development 124:1665-73(1997)